

新世代林業種苗を革新的に短期間で作出する技術 —樹幹解析による成長パターンの解明—

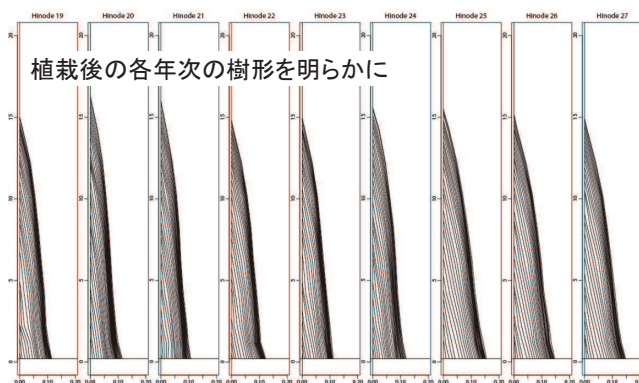
(独)森林総合研究所、佐賀県林業試験場、大分県農林水産研究指導センター
宮崎県林業技術センター、鹿児島県森林総合技術センター、九州大学



樹木の幹には、それまでの成長過程が年輪として刻まれています。これを解析することで過去の成長パターンを明らかにすることができます。本研究では樹幹解析により、新世代林業種苗のように成長速度に優れた系統の成長パターンを明らかにします。また、植栽密度や施業方法などの要因が、新世代種苗の成長パターンに及ぼす影響を解明します。

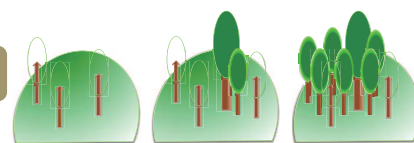
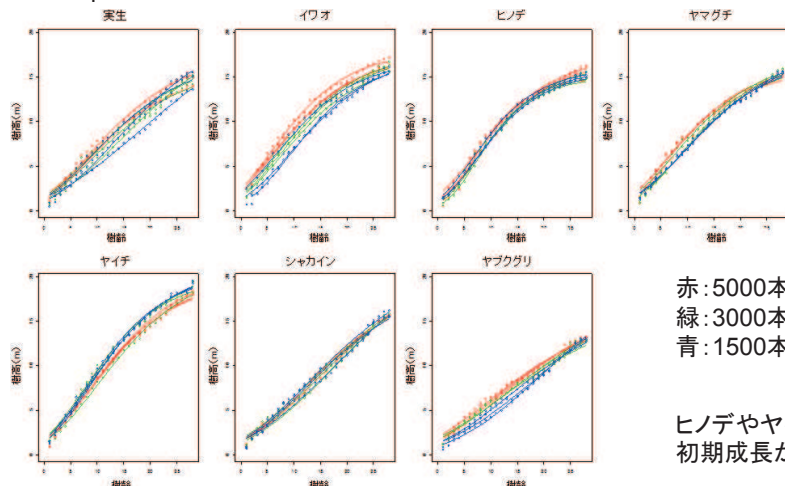
1 樹幹解析のための円盤採取

樹幹解析により過去の成長パターンを調査するため、調査木を伐倒して高さ別に円盤を採取。



2 樹幹解析データから推定した異なる系統の成長パターンの推定

Gompertzの成長式による成長曲線の推定



今後、成長データを集積することにより、植栽密度や省力化などの要因が、新世代種苗の成長パターンに及ぼす影響を解明！

ヒノデやヤイチは植栽密度にかかわらず初期成長が優れている。